

施策名	目標7－3石綿健康被害救済対策										担当部局名	環境保健部 企画課 石綿健康被害対策室							
施策の概要	石綿の健康被害の救済に関する法律（以下「石綿法」という。）に基づき、被害者及び遺族の迅速な救済を図る。										政策評価実施予定時期	令和7年8月	政策評価実施時期						
達成すべき目標	石綿による健康被害を受けた者及びその遺族に対し、医療費等を支給するための措置を講ずることにより、石綿による健康被害の迅速な救済を図る。また、石綿による健康被害に関する調査研究を推進する。										政策体系上の位置付け	7. 環境保健対策の推進							
施策に関係する内閣の重要政策（施政方針演説等のうち主なもの）	第六次環境基本計画（令和6年5月21日閣議決定）																		
測定指標	基準値		目標値		年度ごとの目標値 年度ごとの実績値							測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠					達成		
1	石綿法に基づく認定業務の進捗状況（療養者からの医療費等の申請に対する認定・不認定決定までの平均処理日数）（日）	164日	基準年度	H31年度～5年度	目標年度	131日（過去5年間の平均値より2割削減）	R10年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	・石綿による健康被害の迅速な救済を図るためには、認定業務に係る期間を短縮することが重要であり、療養者からの医療費等の申請に対する認定・不認定決定までの平均処理日数を指標として選定。 ・事務手続の効率化や必要な提出書類に関する医療機関への周知等の取組を実施することにより、平成26年度以降は、制度発足当時（平成18年度）の平均処理日数（173日）の3割減（120日）を維持するよう目標を設定（令和5年度まで）、令和6年度からは過去5年実績（平成31年度～令和5年度）の平均値（164日）より2割以上短縮した平均131日以内となるよう目標を設定。				
								120	120	120	131	－	－	－					
								177	162	173（速報値）	－	－	－	－					
測定指標	基準		目標		施策の進捗状況（目標） 施策の進捗状況（実績）							測定指標の選定理由及び目標（水準・目標年度）の設定の根拠					達成		
2	石綿読影の精度確保等調査事業の参加自治体数	32自治体	基準年度	R2年度	目標年度	前年度以上の参加自治体数	R6年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	・自治体の石綿読影精度向上や効果的・効率的な健康管理の在り方について検討を行うためには、事業により多くの自治体が参画することが期待されるため、前年度以上の参加自治体数を得ることを目標としている。 ・また、石綿読影の精度向上のためには多くの知見を収集する必要があり、読影調査結果を評価・検証するためには事業開始から5年程度を要することから、目標年度は令和6年度に設定している。				
								32自治体	34自治体	34自治体	33自治体	前年度以上の自治体数	－	－			－		
								34自治体	34自治体	33自治体	－	－	－	－					
達成手段（開始年度）	関連する指標	行政事業レビュー事業番号	達成手段（開始年度）		関連する指標	行政事業レビュー事業番号	達成手段（開始年度）		関連する指標	行政事業レビュー事業番号	達成手段（開始年度）		関連する指標	行政事業レビュー事業番号	達成手段（開始年度）		関連する指標	行政事業レビュー事業番号	
(1)	石綿問題への緊急対応に必要な経費（平成18年度）	1、2、3	4948	(5)	－	－	－	(9)	－	－	－	(13)	－	－	－	(17)	－	－	－
(2)	－	－	－	(6)	－	－	－	(10)	－	－	－	(14)	－	－	－	(18)	－	－	－

	(3) —		—	—		(7) —		—	—		(11) —		—	—		(15) —		—	—		(19) —		—	—
	(4) —		—	—		(8) —		—	—		(12) —		—	—		(16) —		—	—		(20) —		—	—
	評価結果	目標達成度 合いの 測定結果	(各行政機関共通区分)																					
			(判断根拠)																					
		目標達成が 出来なかつ た要因、そ の他施策の 課題等																						
			次期目標等 への 反映の方向 性	【施策】																				
	【測定指標】																							
	学識経験を有する者 の知見の活用						SDGs目標との関係					【主な目標】												
【副次的効果が期待される目標】																								
政策評価を行う過程 において使用した資 料その他の情報																								